南市民センター大規模改修その他電気工事 工事概要

1 事業概要

南市民センターは昭和５３年に完成し約３０年以上が経過した施設であり、今回の工事は老朽化した南市民センター大規模改修に伴う電気工事である。

（１）建 物 用 途　　集会場
（２）構造・階数　　社会教育棟（ＲＣ造・Ｓ造、地上２階建）、中央棟（ＲＣ造・Ｓ造、地上２階建）
　　文化ホール棟（ＲＣ造、地下１階・地上４階建）
（３）延 床 面 積　　11,183.90㎡
（４）関 連 工 事　　建築工事、衛生設備工事、空調設備工事、自動制御設備工事、発電設備工事、エレベーター工事、消火設備工事、舞台照明設備工事、舞台音響設備工事、監視カメラ設備工事

2 当工事内容

（１）工　事　名　　南市民センター大規模改修その他電気工事
（２）工　　期　　令和３年５月２９日から令和４年８月３１日まで
（３）工　事　費　　３０８，５０７，１００円
（４）工 事 内 容　　南市民センター大規模改修に伴う以下の電気工事

・構内外線	・幹線動力設備	・受変電設備	・幹線動力設備	・拡声設備
・電灯コンセント設備	・照明器具取付	・火災報知設備	・防火扉防煙排煙設備	・電話設備
・インターホン設備	・電気時計設備	・テレビ共同受信設備	・表示設備	・その他

（５）所　　管　　（発　　注）市民局コミュニティ推進部コミュニティ施設整備課
　　（設計・監督）財政局アセットマネジメント推進部設備課
（６）請　負　者　　九電工・三交電気工事特定建設工事共同企業体
　　（共同企業体の代表者）株式会社　九電工　代表取締役社長執行役員　佐藤　尚文
　　（共同企業体の構成員）三交電気工事　株式会社　代表取締役　松尾　実

（７）特に顕著な事柄
・監督員及び１４社の関連工事との定例及び分科会において厳しい工程のなか、施工協議を綿密に行い、円滑な施工に努めた。また、施工図作成の際は１３社の設備工事全体のとりまとめを行い、各社との取り合い点について主体的に確認を行った。
・新型コロナウイルスの影響により納期遅延があったなか、全体の工程管理を積極的に行う姿勢が見受けられた。
・配線工事の作業においてケーブルの色別化等の施工方法を工夫することで、施工性及び品質の向上を図った。
・既存改修部分について不可視部分を３Ｄ撮影をすることにより設計通りに施工できない箇所を別提案をもって工事を進めた。

3 位置図

4 工事完成状況

● 外　観（全体）

● 受変電設備

● 総合盤

● 文化ホール

● 大練習室

● 練習室